

先の 4 月 20 日(日)に行われた平成 20 年春の情報処理技術者試験について、先月発表された基本情報 / 初級シスアド試験以外の 6 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、システム監査技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

システム監査技術者試験(AU)

[平成 20 年春期のシステム監査技術者試験 統計情報]

応募者	7,347 人
受験者	4,145 人
合格者	422 人
合格率	10.2%

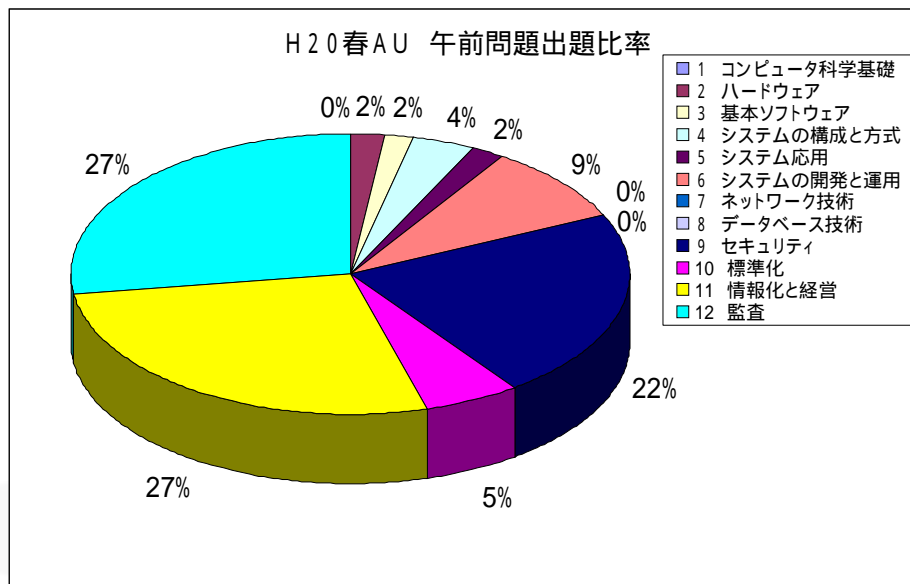
今回の平成 20 年春試験の応募者は、前回平成 19 年春の試験に比べ約 500 人の増加です。合格率は 10.2%で前回の 10.0%に比べて微増です。

今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

[午前問題]

- ・ 過去問題の比率は他の試験と同じで 6 割を占めています。この中でシステム監査技術者試験の過去問として、平成 18 年から 4 問、17 年から 6 問出題されています。
- ・ 新傾向の内容としては、次の問題がありました。
 - 問 7 OSS (Open Source Software) の使用条件
 - 問 9 ITIL のサービスデリバリーにおけるサービスレベル管理
 - 問 15 電子文書を公開する場合のタイムスタンプの効果
 - 問 16 Web アプリケーションの脅威とそのセキュリティ対策
 - 問 20 JIS Q 27001 における情報システムのリストとその評価
 - 問 21 内部統制に関係を有する者の役割と責任
 - 問 23 JIS Q 9000 の妥当性確認
 - 問 24 JIS Q 27001 における ISMS の確立順序
 - 問 25 セキュリティ標準・規格 (JIS Q 27002 , JIS X 5731-8(ITU-T X.509))
 - 問 28 アクションラーニング
 - 問 35 電子政府におけるワンストップサービス
 - 問 38 労働安全衛生法の規定
 - 問 39 偽装請負
- ・ 出題分野としては、セキュリティ、標準化の問題が少し難しかったといえます。全体として午前試験は、前回と同じ難易度だったといえます。

平成 20 年春期のシステム監査技術者試験



〔午後問題〕

- ・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです（問 1，2 必須）

問 1 運用業務の監査

（コントロールの指摘，コントロールの不備）

問 2 キャッシングサービス関連システムの監査

（監査の内容と結果，リスクの想定，暗証番号の保護対策）

問 3 コールセンタシステムの監査

（リスクの洗い出し，リスク低減または回避のためのコントロール，監査手続の追加）

問 4 契約管理システムの監査

（システム導入後の監査計画，監査対象の選定基準，結果による問題検討，監査項目の追加）

- ・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。

問 1 アイデンティティマネジメントに関するシステム監査

（アイデンティティマネジメントの状況と課題，発生・増加するリスク，運用状況の監査する監査手続）

問 2 内部統制報告制度におけるシステム監査

（IT 業務処理統制が機能しない場合の影響，IT 全般統制の有効性を監査する場合の監査手続（運営上の環境や特徴と関連付ける），IT 業務処理統制の有効性を確かめる上での留意点）

問 3 外部組織に依存した業務に関する事業継続計画のシステム監査

（事業継続計画の概要（委託先・調達先との関係踏まえる），事業継続計画策定で確認すべき事項，事業継続計画の実効性監査の監査手続）

午後 試験は，コントロールの不備の指摘を中心としたオーソドックスな内容でした。昨年に続き全問システム監査の問題でしたが，内容的にはコントロールの不備を指摘する設問も多く，監査の問題とコントロールの問題がほぼ半々でした。

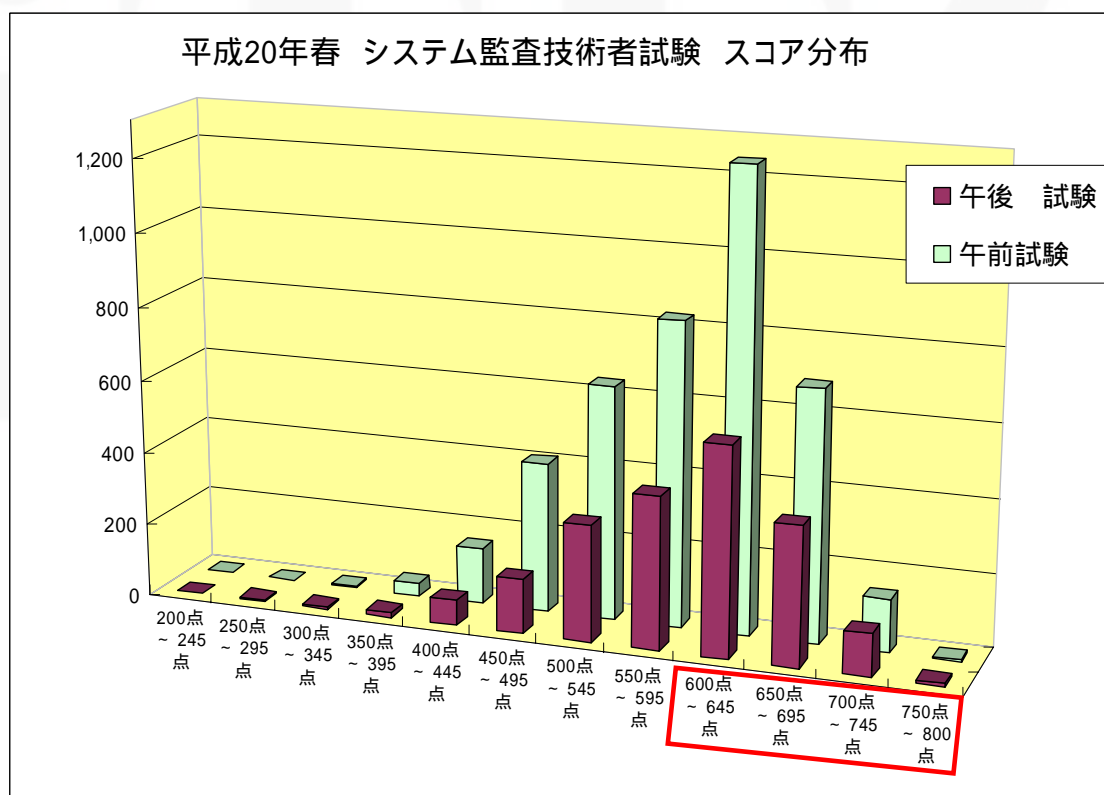
午後 試験の出題内容は，午後 はアイデンティティマネジメントに関する問題が目新しい問題でしたが，他の 2 問は想定されたテーマの問題でした。特に問 2 の内部統制に関する問題は，多くの受験生が想定していたテーマだったと思います。

発表されたシステム監査技術者試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[平成 20 年春 統計情報(システム監査技術者試験 スコア分布)]

スコア	午前試験	午後 試験	午後 試験	合格者
200点 ~ 245点	1	1		
250点 ~ 295点	1	5	D	88
300点 ~ 345点	4	7		
350点 ~ 395点	34	14		
400点 ~ 445点	153	70	C	229
450点 ~ 495点	409	150		
500点 ~ 545点	636	317		
550点 ~ 595点	828	415	B	327
600点 ~ 645点	1,245	568		
650点 ~ 695点	683	378		
700点 ~ 745点	145	117	A	422
750点 ~ 800点	6	9		
計	4,145	2,051	1,066	422
対前試験比率		49.5%	52.0%	39.6%
スコアなし				

合格者数	422	採点者数の割合	合格者数との差
午前600以上合計	2,079	50.2%	1,657
午後 600以上合計	1,072	52.3%	650
午後 -A評価	422	39.6%	0



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の方が 2,079 人(50.2%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えている人が 1,072 人(52.3%)、午後 で合格論文の評価 A の人が 422 人(39.6%)います。

(今回合格された人)

合格された方で今秋のネットワークやシステムアナリスト試験などの試験を受けられる方は、試験の出題範囲がかなり変わるので、早めに学習することが必要です。また、午後 が論文試験のものは、合格するために第三者の添削が欠かせません。弊社の通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している予想問題集、本試験問題は書店でもご購入いただけます。試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特にお勧めです。締切の近いセミナーもありますので、急いで確認しましょう。

通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

今回の午前試験のスコアが500点~595点の人は、合格スコアの600までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。

また、午後試験のスコアが600点に満たなかった人は、確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「午前に出る情報技術」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(合格ゼミ残席数はこちら)

http://www.itec.co.jp/kyozai/seminar_sche.html

(以上)